

科目名	保育実習Ⅲ事前事後指導				担当	市東 賢二・大塚 美奈子・川島 良雄		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年通年	実務経験	—	
必修	保育士：選択必修				ナンバリング	Y5109	DPとの関連	免1
授業概要	<p>本科目は、「保育実習Ⅲ」を実施するために必要な事前の知識・技術の習得を目指すとともに、実習に必要な書類の準備や、人権の尊重、守秘義務の厳守等、実習生としての心構えの確認を行う授業である。15回の事前事後指導すべてに出席することが、「保育実習Ⅲ」実施の条件である。</p>							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的にする</li> <li>2. 実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する</li> <li>3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実線や事例を通して理解する</li> <li>4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する</li> <li>5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする</li> </ol>							
授業計画	回	内容						
	1	保育実習の意義①	保育実習Ⅲの目的					
	2	保育実習の意義②	実習の概要					
	3	保育実習による総合的な学び①	利用児・者の最善の利益を考慮した保育の具体的理解					
	4	保育実習による総合的な学び②	子どもの保育と保護者支援					
	5	保育の実践力の育成①	知的障害・発達障害について					
	6	保育の実践力の育成②	知的障害児・者の状態に応じた適切なかかわり					
	7	実習に際しての留意事項①	実習で何を学ぶのか					
	8	実習に際しての留意事項②	実習テーマの設定					
	9	実習に際しての留意事項③	実習の目的・課題の明確化(グループワーク)					
	10	実習の計画と観察、記録、自己評価①	保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践					
	11	実習の計画と観察、記録、自己評価②	保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善					
	12	保育士の専門性と職業倫理①	保育の専門性と保育実践					
	13	保育士の専門性と職業倫理②	保育の専門性と職業倫理(グループワーク)					
	14	実習事後指導①	実習の総括と自己評価					
15	実習事後指導②	課題の明確化(グループワーク)						
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会人としてふさわしい常識と意欲を持って事前指導に臨めたか</li> <li>2. 実習で必要とされる保育技能の修得に取組み、実践できたか</li> <li>3. 保育士に求められる職業倫理について説明できるか</li> </ol> <p>以上の観点から評価、実習実施の可否について実習委員会で審議し、学科会議で実習実施を許可する</p>							
評価方法	授業態度 50% その他 50% (課題・提出物)							
フィードバック 方法	授業中の課題は、回収後返却し、講評する							
アクティブ ラーニング	グループワーク							
教科書	『実習ガイドブック』上田女子短期大学、『保育所保育指針ハンドブック』学研							
参考書	『教育・保育実習のデザイン』萌文書林							
履修条件	<p>本授業を受講するためには、原則として「保育実習Ⅰ」をすべて履修済みであることが必要である。また、本学幼児教育学科において定める実習実施基準が、「保育実習Ⅲ」実施の条件となる。</p> <p>また 14、15 回目の実習事後指導は、実習園での 11 日間の保育実習を行った学生のみが出席できる。「保育実習Ⅲ」が何らかの事情で中止となった学生は、本科目の単位認定も行われないので注意すること。</p>							
授業外学習	<p>事前学習:授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもち、読書(教科書関連箇所含む)や友人との討議の機会をつくり思考を深めること。また、授業中に提示する事前課題を完了すること。</p> <p>事後学習:授業中に示した内容を振り返り、自らの行う実習の課題を考察すること。</p>							
オフィスアワー	3 階第 9 研究室 citeaux@uedawjc.ac.jp							